

な み お か じ ょ う も の が た り
浪 岡 城 物 語

え た の な み お か じ ょ う れ き し
— 絵 で 楽 し む 浪 岡 城 の 歴 史 —



な み お か じ ょ う き た だ て
浪 岡 城 北 館

浪岡城は、武田信玄や上杉謙信などの武将たちが活躍した「戦国時代」(※)に、

浪岡周辺、北津軽、外浜の北側に勢力を持っていた浪岡北畠氏のお城です。

青森県で初めての国史跡に指定され、「続日本100名城」に選ばれました。

また、浪岡北畠氏は「浪岡御所」と呼ばれ、貴族身分の名族として扱われていました。

現代の浪岡城跡と桜 (上空から)

しかし、浪岡北畠氏と浪岡城に関する史料は、戦乱などで失ってしまったとされ、その多くは謎に包まれてきました。

浪岡北畠氏はいつごろから浪岡に来たのか、浪岡城はどんなお城で、

どんな人が住んでいたのか、これまでの調査研究で分かったことがあるので、

浪岡城の謎を紐解いていきたいと思います。

(※) 戦国時代・・・15世紀末から16世紀末にかけて戦乱が多かった時代のことです。

浪岡北畠氏の先祖は、京都の公家である

北畠親房といわれており、長男の顕家と共に

福島県にある霊山神社や

三重県の北畠神社などに祀られており、

多くの書物や小説、ドラマに取り上げられ

親しまれています。

この二人が活躍したのは、鎌倉幕府滅亡後、

後醍醐天皇が新たな政治を始めた時代です。



北畠親房



北畠顕家

南北朝時代（※）と呼ばれ、二人は南朝側として、

東北地方の統治や後醍醐天皇と敵対した

北朝側の足利尊氏らとの戦を繰り広げますが、

顕家は和泉国（大阪府）で戦死し、

その十数年後に親房が亡くなります。

このとき津軽地域では、

南朝方の南部氏と十三湊を拠点としていた

安藤（安東）氏との対立が深まっていました。



後醍醐天皇

（※）南北朝時代・・・一部室町時代にも含まれる1336年から1392年までの56年間です。京都を本拠地とした「北朝」と奈良吉野を本拠地とした「南朝」が存在した時代です。

後醍醐天皇と北畠氏

15世紀半ば、南部氏に十三湊を

攻められた安藤（安東）氏は、

南部氏から津軽を奪回しようとする

ころみですが、失敗に終わりました。

その後、室町幕府（※）が両者の間に入り、

争いをやめさせたと言われています。

浪岡北畠氏の浪岡入部の様子



その際、夷島（北海道）の支配権を安藤（安東）氏に、

下北や津軽の内陸などの支配権を南部氏に

みとめることになりました。

また、両者の衝突をさけるため、

浪岡北畠氏に北津軽および外浜北側の支配を

みとめることとし、このとき浪岡に

浪岡北畠氏が入ることになったとされます。



（※）室町幕府・・・征夷大將軍となった足利尊氏が京都で始めた武家政権のことです。



じゅうさんこ
十三湖

かなぎだて
金木館

はらこだて
原子館

にし西

日本各地で貴重品として大切にされました。

便利な場所で、北海道からの交易品である

また、北海道と交易(※)をするうえでも

鮭やアザラシ、ラッコの皮などは

下之切通り



ほんじゅさん
梵珠山

はくさんじんじゃ
白山神社

げんこうじ
元光寺

だいしゃかだて
大釈迦館

かもしんじゃ
加茂神社

はちまんぐら
八幡宮

げんとくじ
玄徳寺

なみおかじょう
浪岡城

げんじょうだて
源常館

ひろみねじんじゃ
広峰神社

かわはらだて
川原館
さいこういん
西光院

きたはたけだて
北畠館

きちないだて
吉内館

ほんごうだて
本郷館

にゅういどお
乳井通り

みなみ
南

こわしみずだて
強清水館

かれいざわだて
王余魚沢館

まめさかかいどう
大豆坂街道

たかだじょう
高田城

みょうけんどう
妙見堂

よこうちじょう
横内城

はっこうだれんぼう
八甲田連峰

浪岡城の周辺は、浪岡と陸奥湾を結ぶ「大豆坂街道」、

浪岡と十三湊を結ぶ「下之切通り」、

大鰐から黒石を通り浪岡まで伸びる

「乳井通り」や「羽州街道」などが走っており(※)、

浪岡城は各街道が結ばれた地点に築城されています。

これらの街道には、浪岡城の出城といわれる

お城が複数おかれていて、浪岡城は人と物が

行きかう地域の拠点でした。

あらかわ
荒川

ひがし東

(※) 交易・・・お互いの品物を交換することや売買をすることです。

(※) 各街道は近世の名称です。

浪岡城周辺の街道と関連城館

浪岡城跡は、東西に細長い形をしており、

東側から、新館・東館・猿楽館・北館・内館・

西館・検校館や大豆坂街道沿いの無名の館の、

8箇所の平場があり、それぞれ

幅が約20 m の堀で分けられています。

浪岡城の特徴として、二重堀・三重堀があります。

これは、堀の中央を掘り残しているもので、

「中土塁」と呼ばれます。

中土塁は、城内の通路となっているほか、

敵が通るときに周りから狙い撃ちのできるなど、

防御に適したつくりになっています。

当時の浪岡城の様子

浪岡城跡で発掘調査が

終わっているのは、

内館と北館です。

内館からは、

特別な造りをしている

建物跡が見つかり、

内館には、浪岡城の城主が

住んでいたとされます。

この建物で、城主が

様々なお客と対面していたと

考えられ、政治や外交なども

行われていたとされます。

一方、北館では、

家臣団などの屋敷があったと

考えられています。



内館の建物で政治や外交を行う様子



また、鏡かがみや紅皿べにざら（※）も出土じゅつちして

おり、城内じょうないには女性じよせいが住すんで

いて、お化粧けしやうをしていたことことも

わかります。

そのほか、馬具ばぐ（※）の出土じゅつちから

馬うまの飼育しいくや井戸いどで水みずくみを

している人ひとなど、

浪岡城なみおかじょうには、たくさん

人がくらししていました。



北館きただての発掘調査はっくつちやうさでは、

大工道具だいくどうぐや鋳物いもの（※）、鍛冶かじの道具どうぐが

見つかっており、

城内じょうないには武士ぶしと一緒いっしょに

職人しやくにんたちが暮くらしていたと

おも

思われま

す。



北館きただてでの暮らしくらしの様子ようす

（※）鋳物・・・加熱かねつして溶とかした金属きんぞくを型かたに流ながし込み、冷ひえて固かたまった後あと、型かたから取とり出して作つくった金属製品きんぞくせいひんのことです。

（※）紅皿・・・化粧用けしやうようの紅べにを塗ぬりつけてある小皿こざらのことで、指先ゆびさきや筆ふでで溶といて使つかいます。
 （※）馬具・・・馬うまの装具そうぐのことです。くら・くつわ・あぶみ等ながあります。



さわれていたこととでしよ。つ。

色々な品が売り買い

市場がひらかれ、

当時の浪岡城では、

考えられています。

浪岡城まで運ばれたと

荷物をおろし、陸や川で

いまの青森市油川で

日本海を船で北上し、

これらの品の数々は、

浪岡城跡の出土品の

中からは、中国や

朝鮮で作られた器や

茶の湯道具、

アイヌのガラス玉など

が見つかっており、

浪岡城には様々な

文化が入ってきて

いました。

浪岡北畠氏は、朝廷から

爵位（※）をもらっていました。

その様子が京都の公家が
残した書物に出てきます。

この書物には、浪岡北畠氏

が爵位をもらおうと公家に

おねがいをした様子が

書かれています。

また、浪岡北畠氏の昇任

コースと似ていたのが、

伊勢北畠氏になります。

伊勢北畠氏は、北畠親房の

三男、北畠顕能が先祖です。

この両家は、名前にも

「具」の二字を用いるなど、

似たような点があります。

はっきりとわかりませんが、

両家には、なんらかの

関係があったように

おもわれます。



(※) 爵位・・・貴族の段階別を示す称号のことです。

叙爵任官の様子

浪岡北畠氏がもつとも繁栄したのは、16世紀前半です。このごろの津軽地方は、浪岡北畠氏、

大光寺南部氏、大浦氏が勢力を持っていたほか津軽郡代（※）として南部高信がいました。

この中でも浪岡北畠氏の経済力がもつとも大きかったと思われれます。



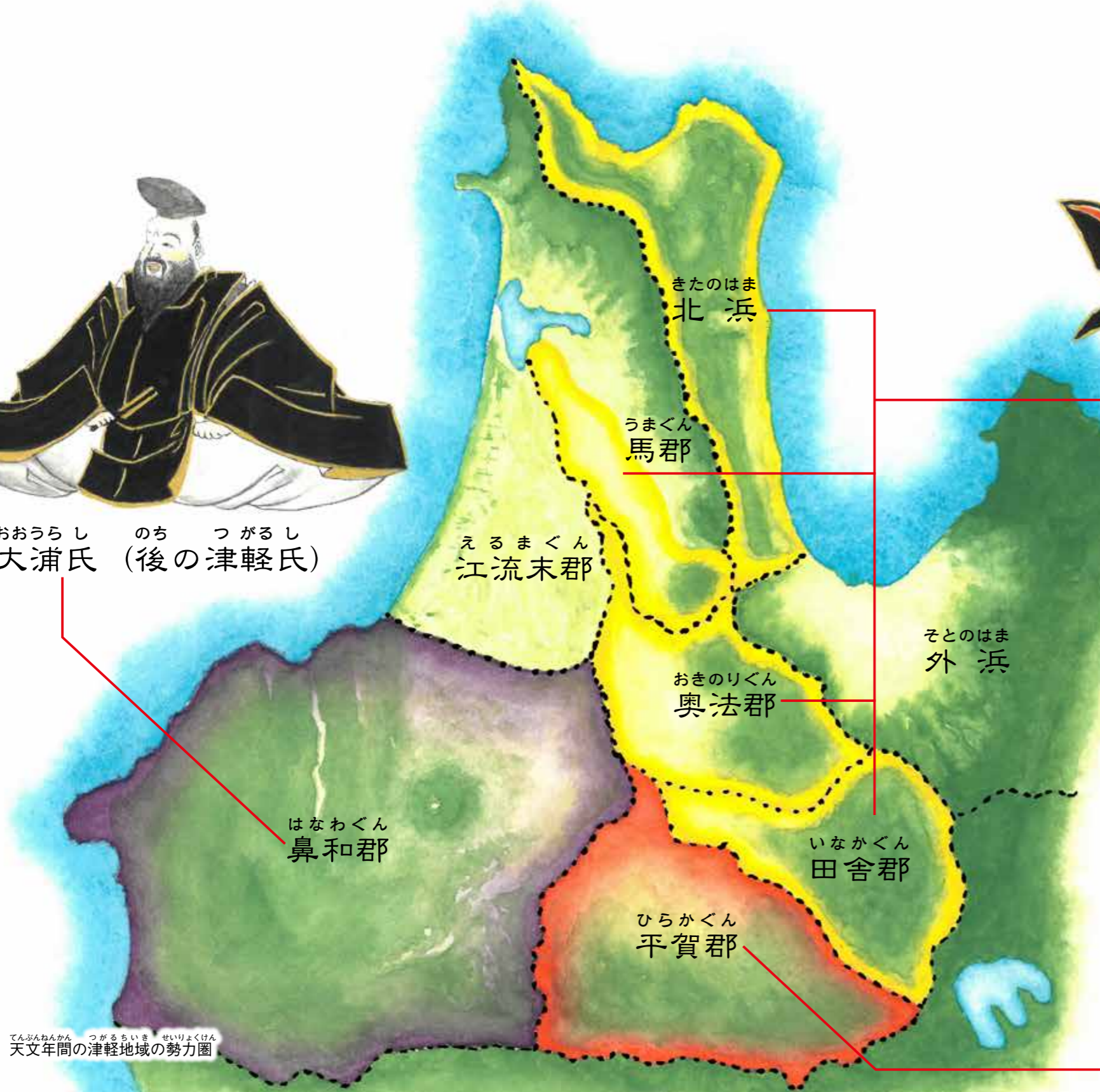
浪岡北畠氏



大光寺南部氏



大浦氏 (後の津軽氏)



天文年間てんぶんねんかんの津軽地域の勢力圏つがるちいき

発掘調査の結果、16世紀後半から建物跡が少なくなっていることがわかり、浪岡北畠氏の勢力は、その頃からおとろえていったと考えられます。その原因は1562年に起こった、「川原御所の乱」だとされています。

(※) 郡代...郡代とは郡を単位として軍事や警察権の行使等をしてきた代官のことです。

川原御所は、浪岡北畠一族の中でも重要な人物で、浪岡御所具永

の弟・具信であるといわれています。「川原御所の乱」の原因は、土地の

境目争いと書いてあるものもありますが、たしかなところは

わかっていません。事件がおこったのは、1562年4月の

ことです。川原御所・具信親子が浪岡御所に切り入り、

浪岡御所が殺害された二方、川原御所も討ち取られる

というものでした。

その後、川原御所は滅んでしまいました。



浪岡御所は、五歳の息子、

頭村が後継ぎとなりますが、

浪岡御所の家臣の多くは、

浪人となったと伝えられて

います。

1578年7月、大浦氏の当主、大浦為信は、浪岡城が川原御所の乱で手薄になったとして、

浪岡城に攻め入ります。そのとき、前もって浪岡御所の家臣を仲間に誘うなど、はかりごとを

実行しました。出陣のとき、大浦為信は三つの軍隊で三方から攻め入り、浪岡御所・北畠頭村

を捕らえると切腹をさせたと言います。

こうして、浪岡城は落城しました。

落城後の浪岡北畠氏は、南部氏や

安東氏に身を寄せています。

また、弘前藩で刀鍛冶になったものや

医者をつとめたものもいました。

さいご なみおかごしよ きたはだけあきむつ
最後の浪岡御所となった北畠頭村の

せいしつ あんどうし とうしめ あんどうちかすえ むすめ
正室は、安東氏の当主、安東愛季の娘で、

なみおかじょう らんじょうご ちち ちかすえ もと
浪岡城の落城後は、父・愛季の元へ

もと
戻っていました。

かんけい あんどうし つがる
こうした関係からか、安東氏は津軽へ

せい い ほっかいどう かきさきし
攻め入り、北海道の蠣崎氏にもよびかけ、

きた みなみ おおつらし
北と南から大浦氏をはさみ撃ち

にしようともしました。

ねん がつ ひらかんちやうすやま
1579年7月、平賀郡茶白山・

ろっぱがわかつせん ためのぶ う と
六羽川合戦では、為信を討ち取る

すんぜん
寸前までいきましたが、

いくさ やぶ
戦に敗れてしまいました。

ご なんぶし しやめん
その後、為信は南部氏に赦免(※)をねがい

い つがる じようきやう
でたと言われるなど、津軽の状況は

おお こと
大きく動きます。

ご なみおかじょう えど じだい たはた
その後の浪岡城ですが、江戸時代には田畑と

ちやうり
して利用されたといえます。



(※) しゃめん つみ あやま ゆる
赦免・・・罪や過ちを許すことです。

ちやうすやま ろっぱがわかつせん しょうす
茶白山・六羽川合戦の様子

明治時代になると、かつて天皇家を

支えた北畠氏の功績を讃える動きが

高まり、明治15年(1882)には、

浪岡城跡に北畠古城跡碑が、

北畠氏のお墓と伝わる五輪塔が残る

場所には北畠累代墓碑が建てられました。

大正4年(1915)には、大正天皇

即位を記念して、浪岡城跡の内館に

二つの石碑が建てられました。

さらに内館の周囲に松や桜を植え、

昭和10年頃から観桜会が開催される

ようになりました。

以来、栄枯盛衰(※)の舞台となった

浪岡城跡では、春になると桜の花が

咲き誇り、地元住民や観光客を

喜ばせてくれます。

(※) 栄枯盛衰・・・栄えたり衰えたりを繰り返す人の世のはかなさのことです。

浪岡北畠氏の歴史〔年表〕

安土桃山時代		室町時代 (戦国時代)									室町時代		室町時代 (南北朝時代)		建武の新政		時代																
天正18年	天正10年	天正7年	天正6年	天正元年	元龜2年	永祿5年	天文21年	天文15年	天文5年	応仁元年	嘉吉3年	嘉吉2年	元中9年	明德3年	暦応元年	延元3年	正慶2年	元弘3年	和暦														
1590	1582	1579	1578	1573	1571	1562	1552	1546	1536	1467	1443	1442	1392	1338	1338	1333	1333	1333	西暦														
豊臣秀吉、全国を統一する。津軽と南部の領地が決まる。		大浦為信と安東氏が戦う。(茶臼山・六羽川合戦)		本能寺の変。		織田信長、室町幕府を滅ぼす。		津軽で大浦為信が反乱をおこす。		川原御所の乱がおきる。		北畠貞永、左中将に昇進。北畠貞運、式部少輔に昇進。		北畠貞永、弾正大弼に昇進。		北畠貞統、侍従に昇進。		北畠貞永、侍従に昇進。		15世紀半ば、北畠氏が浪岡に入り城を構える。		安藤氏、北海道に逃れる。		応仁の乱がはじまる。(1478)		南朝と北朝が一つになる。		鎌倉幕府が滅ぶ。後醍醐天皇が建武の新政をはじめめる。		足利尊氏、室町幕府をひらく。		全国を中心としたできごと	
		大浦為信が浪岡城を攻め落とす。														北畠頭家が和泉国石津(大阪府)で戦死する。		北畠頭家、陸奥国に出発する。		浪岡北畠氏などのできごと													
		25~26		23~24						21~22		17~18		5~6		3~4		3~4		ページ													



ちゆうせい にほんちず さんこう えが す
—中世の日本地図を参考に描いた図—

浪岡城物語—絵で楽しむ浪岡城の歴史—

発行日：令和3年3月31日

発行：青森市教育委員会

編集：青森市教育委員会事務局文化財課

青森市新町一丁目3-7

TEL 017-718-1392

本資料の作図は、里村真吾が担当し、
これまでの史料や写真等を基に作成したイメージ図です。